

平成20年「宇宙の日」記念行事における作文絵画コンテスト募集要項

★主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、協力科学館

★作文絵画

テーマ：「宇宙でしたい あんなことこんなこと」

今年3人の日本人宇宙飛行士が宇宙に飛び立ち宇宙ステーションの組み立てなどで活躍します。皆さんが宇宙に飛び立つ時代ももうすぐやってきます。皆さんが宇宙に飛び立つようになったとき、どこでどんなことをしますか？将来皆さんが宇宙で活躍する様子を想像してみてください。

★応募資格：全国の小・中学校に在籍している児童・生徒

★応募締切：平成20年7月31日(木) (当日提出先の協力科学館必着)

★応募方法：①作文の部

題名は自由です。400字詰め原稿用紙2枚～5枚程度(ワープロ不可、自筆のこと)。作品には必ず、必要事項を記入した応募用紙または住所(ふりがな)、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年、年齢、作品提出先の協力科学館名を明記した紙を添付の上、最寄りの協力科学館(別表1)または「宇宙の日」事務局までお送り下さい。なお、応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。また、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

②絵画の部

A2サイズ(420×594mm)以下の用紙を使用。

必要事項を記入した応募用紙、または住所(ふりがな)、氏名(ふりがな)、電話番号、学校名、学年、年齢、作品提出先の協力科学館名を明記した紙を、作品の裏面に貼付の上、最寄りの協力科学館(別表1)または「宇宙の日」事務局までお送り下さい。使用する画材は自由です(ただし、コンピュータグラフィックは不可)。なお、応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。また、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はいたしません。

★送付先：別表1に示す最寄りの協力科学館または「宇宙の日」事務局へ送付して

ください。

※作文または絵画のみ受け付ける科学館がありますのでご注意ください。

★審査：各協力科学館および全国小・中学生作文絵画コンテスト審査委員会

★発表：それぞれの賞の入選者に直接通知します。

★賞状、副賞：

〔協力科学館により選定される賞及び副賞〕

協力科学館ごとに作文、絵画の以下の賞を選定し、それぞれ以下の賞状及び副賞を贈呈します。なお、応募者全員に参加賞を進呈します。

- ・小学生部門：最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 3 点
 - ・中学生部門： " 1 点、 " 2 点、 " 3 点
- 各賞に選定された方に、それぞれ賞状及び副賞（別表 2）を贈呈します。

〔協力科学館の「最優秀賞」者の中からさらに選定される賞及び副賞〕

さらに、協力科学館の「最優秀賞」者の中から以下の賞を選定し、それぞれの賞状及び副賞（別表 3）を贈呈します。

- ・文部科学大臣賞
 - ・国立天文台長賞
 - ・宇宙航空研究開発機構理事長賞
 - ・日本科学未来館館長賞
 - ・(財)リモート・センシング技術センター理事長賞
 - ・(財)日本宇宙フォーラム理事長賞
 - ・(財)日本宇宙少年団理事長賞
- 作文の部、絵画の部
小・中学生各部門 1 点
計 28 点

★表彰：①協力科学館における表彰

協力科学館において選定される「最優秀賞」、「優秀賞」及び「佳作」の受賞者につきましては、「科学館表彰」として、それぞれの館において、9月中に表彰を行います。

- ②文部科学大臣賞、国立天文台長賞、宇宙航空研究開発機構理事長賞、日本科学未来館館長賞、(財)リモート・センシング技術センター理事長賞、(財)日本宇宙フォーラム理事長賞、(財)日本宇宙少年団理事長賞の表彰
- 協力科学館の最優秀賞者の中から選定される上記 7 賞の表彰は、10月に都内または近郊において開催される『『宇宙の日』全国小・中学生作文絵画コンテスト表彰式』で行います。なお、絵画の部小学生部門の入賞 7 作品は、アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF)

の主催するポスターコンテストに出展される3作品の候補となります。

※「参考情報：アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSF）について」を参照

★問い合わせ先：協力科学館（別表1）または下記事務局にお問い合わせください。

「宇宙の日」事務局 作文絵画コンテスト係

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 7F

（財）日本宇宙フォーラム内

TEL:03-5200-1301 FAX:03-5200-1420

E-Mail: space-day20@jsforum.or.jp

ホームページ: www.jsforum.or.jp/event/spaceday

(別表2)

【協力科学館により選定される賞および副賞】

賞	部・部門	作文の部		絵画の部	
		小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
最優秀賞 (各部門1点)		「宇宙の日」特製 ウォータークロック			
優秀賞 (各部門2点)		お絵かきセット			
佳作 (各部門3点)		スポーツウォッチ			

(別表3)

【協力科学館の「最優秀賞」者の中からさらに選定される賞および副賞】

賞	部・部門	作文の部		絵画の部	
		小学生部門	中学生部門	小学生部門	中学生部門
文部科学大臣賞 (各部門1点)		地球儀・プラネタリウムセット			
国立天文台長賞 (各部門1点)		天体望遠鏡			
宇宙航空研究開発機構 理事長賞 (各部門1点)		H-II B ロケット 1/100 模型			
日本科学未来館館長賞 (各部門1点)		電子辞書			
(財)リモート・センシング 技術センター理事長賞 (各部門1点)		人工衛星で撮影したあなたの町の写真			
(財)日本宇宙フォーラム理事長賞 (各部門1点)		携帯型デジタル音楽プレーヤー			
(財)日本宇宙少年団理事長 賞 (各部門1点)		ズーム式双眼鏡			

(参考情報)

アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) について

名 称 : アジア太平洋地域宇宙機関会議 (Asia Pacific Region Space Agency Forum)

経 緯 : 1992年のアジア太平洋国際宇宙年会議での宣言を受け、1993年以降
文部科学省及び宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の主催によりほぼ毎年開催。

目 的 : アジア太平洋地域の宇宙利用の促進を目的に、各国の宇宙活動や将来活動に関
わる情報交換、並びに具体的な協力活動の構築に向けた議論を、宇宙機関、国
際機関等をはじめ産学官から広く参加者を求めて行う。

開催実績 : これまでに14回開催。前回は、2007年11月にインドにおいて開催。次
回は、2008年にベトナムで第15回会合を開催予定。

前回 (APRSAF-15) の参加国・参加機関 :

日本、オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、
韓国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、
ネパール、フィリピン、ロシア、スリランカ、タイ、
アメリカ合衆国、ベトナム (各国の宇宙機関の代表者が参加)

アジア工科大学 (AIT)、アジア太平洋宇宙技術応用・多国間協力会議 (AP-MCSTA)、
アセアン宇宙技術利用小委員会 (ASEAN/SCOSTA)、国際連合教育科学文化機関
(UNESCO)、国際連合宇宙部 (UNOOSA)、国際連合アジア太平洋経済社会委員会
(ESCAP)、メコン川委員会